

消防士から漁師へ

さ さ き しょうた

神部漁業協同組合 (株)宝生水産 佐々木 将太さん 27歳
佐々木さんは、ブリやマグロの養殖業に従事されています。

漁業暦 1 年



佐々木 将太さん

佐々木さんは、地元の新上五島町出身で、高校卒業後に島外の公務員専門学校に入学し、消防士を目指しました。その結果、見事、試験を突破し消防士への道へ進みました。7年間の消防士生活では、日々の訓練や人命救助法を学びながら、心身ともに大きく成長し、人生形成において大変有益な時間を過ごしたそうです。そのような中、幼いころから面識があった現社長に再会し、養殖という仕事に関する話を聞いたたり、体験をさせてもらう機会もあり、徐々にその魅力に引き込まれていったそうです。そして、「消防士から漁師へ」と、大きく方向転換する判断を行い地元へ帰ってきました。決め手は、自分をもっと高いレベルの人間に成長させる可能性がある仕事と感じたからだと言っていました。決して消防士が嫌になった訳ではなく、養殖の方がより自分をレベルアップさせることができると判断したそうです。

将来的には、養殖業の魅力を発信しながら地元を活性化できる人間になるのが夢とのことでした。



経歴

18歳

消防士になるために

高校卒業後、公務員専門学校に入学し消防士を目指す。

19歳～

消防士として活動

公務員専門学校を卒業後、島外で消防士として勤務。

26歳

Uターンし漁師へ

島へ戻り、ブリやマグロの養殖に従事

佐々木さんの一日



餌の準備

フォークリフトで、船に餌を積み込みます。



給餌作業

摂餌状況や泳ぎ方を観察しながら、魚の健康状態を把握します。



出荷作業

ブリの旬は冬場なので、雪が散らつく中での出荷作業も珍しくありません。

出勤

6:30～7:00
出勤

給餌

出荷

7:00～12:00
・餌の準備
・給餌(餌やり)
※出荷作業が入ることもある。

昼食

12:00～13:00
昼休み

整備

(筏、網)

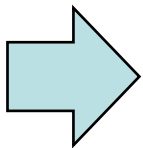
出荷

13:00～17:00
・筏づくり
・網の点検・補修
※出荷作業が入ることもある。

帰宅

17:00 終業

漁業以外の活動の様子



・仕事が終わった後の晩酌が楽しみです。特に養殖網補修などの潜水作業後の一杯は格別です。きつい仕事ですが、これを目標に頑張られています(笑)。

・最近では、趣味のゴルフを上達させるための練習に休日は、励んでいます。先輩方とコースに出ても恥ずかしくないように頑張っています。やっぱり、ゴルフでも先輩方には負けたくないですからね。

先輩の声

魚任せのスケジュールで、大変な仕事だと思いますが、やる気を持って、積極的に飼育を行っており、今後の活躍に大変期待しています。将来的にリーダー格として会社を引っ張っていく存在になるだろうと楽しみにしています。

漁業就業を目指す方へ

養殖業は、小さかった魚が少しずつ成長していくことを日々実感しながら、出荷までたどりつけた時には大きな喜びと達成感が生まれる仕事です。仕事は大変ですが、思い通りの魚を育て出荷した時には、とんでもない充実感があります。

集落では、高齢化や後継者不足を実感しており、私のような若い世代が集落を活性化させる必要性を感じています。同じような志の若い漁業者が増えていくことを望んでいます。

佐々木さんの本音チャート

